

ニューヨーク市内における拳銃発砲事件に関する注意喚起

1 今年、ニューヨーク市内では拳銃発砲事件が多発しており、6月以後急増しております。ニューヨーク市警察の発表によれば、本年7月中に244件の発砲事件が発生しており、昨年同期の88件と比較して177%以上増加しております。この傾向は8月も継続しており、週末の2日間に少なくとも35件の発砲事件で46人が犠牲になっているとの報道もあります。

また、本年中の発砲事件総件数は、8月16日現在892件で前年同期と比較して82.1%増加しています。

2 最近の傾向として、従前から発砲事件が多く発生しているブルックリンやクイーンズ地区等の他、マンハッタン地区でも発砲事件が発生しております。週末における発砲事件が多発していることから、NYPDでは多数の制服警察官を週末勤務にシフト変更して対処することです。発砲事件の増加の理由として、銃器の不法所持で拘留されていた犯罪者が保釈されている点が一因となっている模様です。

(NYPD 発表)

<https://www1.nyc.gov/site/nypd/news/p0803a/nypd-citywide-crime-statistics-july-2020>

(最近発生した主な発砲事件 (報道))

・8月25日夜間、クイーンズ地区の30th Avenue and 97th Street in Flushingのアパートの中庭において、男性が撃たれ病院に運ばれたが死亡。他の男性2名もそれぞれ首と腹部を撃たれ負傷

・8月25日夜間、ブルックリン地区のEast Flatbushにおいて、男性が腕と首を撃たれ病院に運ばれたが死亡

・8月25日夜間、ブルックリン地区のEast 108th Street and Farragut Road in Canarsieにおいて、車を運転中の男性が頭を撃たれ負傷

・8月25日夜間、マンハッタン地区のAmsterdam Avenue near West 103rd Street on the

Upper West Sideにおいて、男性が腹部を撃たれ負傷

- ・8月26日早朝、クイーンズ地区で男性が撃たれ病院に運ばれたが死亡
- ・8月26日夜間、ブロンクス地区のWickham Avenueにおいて、男性が撃たれ負傷
- ・8月27日早朝、ブロンクス地区のMajor Deegan Expresswayにおいて、車を運転中の女性が撃たれ負傷

3 在留邦人の皆さまにおかれましては、報道等から最新の情報を入手して、事件現場付近には近づかないようにする、夜間の外出や人通りの少ない道は避ける等、安全を確保するようにしてください。

なお、NY市が犯罪マップ (<https://maps.nyc.gov/crime/>) を公表しているのでこちらも併せてご参照ください。

■ 本お知らせは、安全対策に関する情報を含むため、在留届への電子アドレス登録者、「緊急メール／総領事館からのお知らせ」登録者、外務省海外旅行登録「たびレジ」登録者に配信しています（本お知らせに関しては、配信停止を承れませんのでご了承願います。）。

■ 本お知らせは、ご本人にとどまらず、家族内、組織内で共有いただくとともにお知り合いの方にもお伝えいただきますようご協力のほどよろしくお願いいたします。

■ 在留届、帰国・転出等の届出を励行願います。

緊急時の安否確認を当館から行うために必要です。

以下のURLをご参照ください。

<http://www.ny.us.emb-japan.go.jp/jp/b/02.html>

■ 在ニューヨーク日本国総領事館

[299 Park Avenue](#), 18th Floor, New York, NY 10171

TEL: (212)-371-8222

HP: <http://www.ny.us.emb-japan.go.jp/jp/html/>

facebook: <https://www.facebook.com/JapanConsNY/>
